

学長告辞

本日ここに、青森市長 小野寺 晃彦 様をはじめ、ご来賓の皆様、ご列席のもと、青森公立大学の学位授与式を挙行できますことは、われわれ教職員一同、大いなる喜びとするところであります。

本年度は、新型コロナウイルスの拡大を阻止するための国の要請を受け、この会場には、ご父母の皆様の姿はございません。しかし、その想いは会場内の皆様とともにあると思います。

本年度は、経営経済学部、経営学科 136 名、経済学科 135 名、地域みらい学科 45 名、総計 316 名の皆さんが、青森公立大学から旅立つこととなります。

卒業の日を迎えられた お一人おひとり、そして保護者の皆様に、心からお祝いを申し上げます。

『人間は一本の葦、すなわち自然の中で最も弱いものでしかない。しかし、それは考える葦である。』 これは、パスカルの原理、パスカルの定理の発見者、そして世界初の歯車式計算機の発明者として知られているブレーズパスカルの遺稿集「パンセ」の中の一節です。

自然界で最も弱い存在である人間は、思考することによって存在していくことができるという実存の概念です。

新たなスタートを切ろうとする本学卒業の皆さんには、難局を乗り越え、明るい未来を築いていくための考える力が備わっているはずです。

皆さんは、この青森公立大学において、そのような力を、時には教授からの厳しい指導で、また、地域のフィールドに出て、住民の方々との交流によって、育まれてきたと思います。4年間という時間は、皆さんを強く鍛え上げてきたと、そのように信じています。

人が長い人生を生きていくという観点からすれば、大学で学べたことは極めて少ないといわざるを得ないかもしれませんが、思いもかけない事態が発生したとき、冷静に正しい情報を取得し、ことに対処していくには、日ごろから自ら鍛えていく必要があります。

目標を定め、今後の人生に、希望を持って一步一步、前進していただきたいと思います。

最後に、卒業生の皆様にこれまで支えてくださいました、ご家族の方々のご苦勞に対し敬意を表させていただきます。

また、ご指導にあたられました教職員の皆様に感謝申し上げます。卒業生の皆様が夢のある、そして、豊かな将来を築かれますように心から願いまして、学長告辞と致します。

令和2年3月14日

青森公立大学 学長 香取 薫